

教科・科目	対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
地理歴史 ・ 日本史 B	3 年 (文系)	4	詳説日本史（山川出版）	・最新日本史図表(第一学習社) ・新編史料日本史(とうほう) ・ポテンシャル日本史（山平商会）
科目の概要 と目標	・近代以降の日本の歴史が、変化する国際情勢の中でいかに展開してきたかを学ぶことによって、先人の歩みと苦勞を知り、今後の生き方あり方を考える。また国際人として、基本的な日本史の知識を身につける。			
授業の 進め方	・教科書やプリントを用いて基本的な知識の定着を図るとともに、歴史の流れの中で歴史的事項を位置づける。 ・史料集や図表を活用して史・資料の読み取りの力等を養う。			
評価の観点 と方法	・「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「資料活用の技能」「知識・理解」の観点から評価する。 ・中間考査、期末考査、校内模試、課題提出状況などをもとに総合的に評価する。			

学期	単元・学習項目	学習内容・到達度目標
年 間 の 授 業 内 容	1 学 期  幕藩体制の展開 ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化  幕藩体制の動揺 ・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化  近代国家の成立 ・開国と幕末の動乱 ・明治維新と富国強兵  ・立憲国家の成立と日清戦争	・国内の安定にともなう農村や都市における産業・経済・交通の発展の様子を理解し、その繁栄にもとづいた元禄文化の特質等について理解できる。  ・幕藩体制を維持するために実施された改革について知るとともに、鎖国下の成熟した町人文化について理解を深める。  ・幕府崩壊の過程を国際社会のなかに位置づけて理解し、明治新政府の富国強兵策の推進、反政府運動でもある自由民権・立憲体制の樹立の一連の流れを理解できる。  ・幕府崩壊の過程を国際社会のなかに位置づけて理解し、明治新政府の富国強兵策の推進、反政府運動でもある自由民権・立憲体制の樹立の一連の流れを理解できる。  ・条約改正により列強と対等になったわが国の急速な資本主義化・軍事大国化の一方で、生み出された労働・環境問題、内面的変化の少なさなど、二面的な日本人の姿を理解できる。
	2 学 期  ・日露戦争と国際関係  ・近代産業の発達 ・近代文化の発達  二つの世界大戦とアジア ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制 ・市民生活の変容と大衆文化 ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦  占領下の日本 ・占領と改革 ・冷戦の開始と講話  高度経済成長の時代 p386～ ・55年体制 ・経済復興から高度経済成長へ  激動する世界と日本 p402～ ・国際経済体制の変化 ・成熟社会と国際化  問題演習	・戦争等を通して活発化する日本の海外進出に対し、日本支配に対する抵抗運動が展開されたことを理解できる。  ・大戦後の平和を求める動きを理解し、国内の民主的な動きや文化の大衆化を民本主義や米騒動と結びつけて理解できる。  ・日本が戦争に進んでいく過程を理解し、戦争勃発の理由を自分なりに考えてみるができる。  ・戦後の民主化で社会や生活が一変するなか、先人の苦勞を通して今日の社会の基礎が築かれたことが理解できる。  ・東西冷戦激化のなかで、日本が「逆コース」をたどっていく理由を自分なりに考え理解できる。  ・急速に発展する日本社会の光と影の部分が理解できる。  ・冷戦の終結、民族紛争・地域紛争の多発、高度成長の終焉、政治汚職事件の頻発など、内外情勢がめまぐるしく変化し多くの問題をかかえていくことを理解できる。
	3 学 期  問題演習	既習全範囲について大きな流れを掴むとともに、各時代の歴史用語を整理し、時代縦断的に知識のグループ化をはかる。